

アップサイクル推進・CO₂削減のための社内課金制度の事例

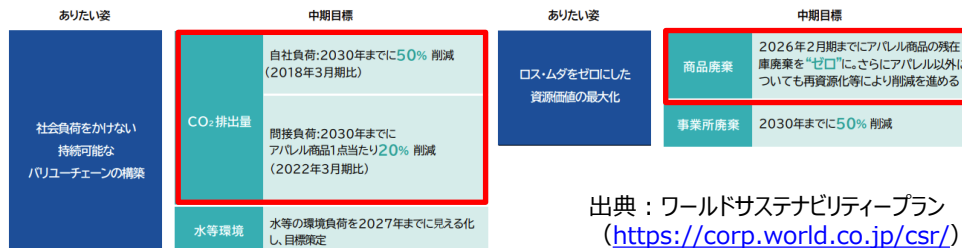
ワールドグループのサステナビリティプランにおいてCO₂削減・商品廃棄ゼロ等の目標を掲げ、取組を推進している。その一環として、廃棄対象品が発生した場合や、CO₂削減目標が未達の場合に社内課金を行い、資金を取組に活用することで、グループ一丸となって目標達成を目指す意識を醸成している。

株式会社ワールドの事例

取組み概要

廃棄ゼロ・CO₂削減に向けた社内課金制度

- グループ全体と其中で各自が何をすればよいか、一丸となる仕組みとし、課金対象、内容は定期的に見直し、推進をしている。
- 商品廃棄ゼロの目標達成に向けて、まずは販売時に売り切ることを優先事項として、それでも出てしまう廃棄対象品のアップサイクルを実施し、繊維to繊維リサイクルの検討等に活用している。
- 本取組を促進する工夫として、各事業部からシーズン（SS/AW）ごとに発生した廃棄対象品に応じて、社内課金を行い、アップサイクル開発費に充てる取組を実施している。
- CO₂排出量の削減については、「製品製造時にリサイクル素材などの脱炭素素材の活用」「廃棄削減」「アップサイクル素材の開発と活用」の3つの観点から取組を推進しており、各事業会社に目標値を設定し、未達成の場合は社内課金を行うことで、取組の促進を図っている。



効果

- アパレル商品の焼却や埋立による廃棄ゼロを達成(2025年12月)
- 社内課金制度により、グループ全体でサステナブル素材の使用やCO₂削減に対する意識が向上

企業名



株式会社 ワールド

設立年

1959年1月13日

売上高

2,257億円
(2025年2月期・連結)

企業概要

- 事業持株会社として、傘下のブランド事業、デジタル事業、プラットフォーム事業を営むグループ全体の経営管理、及びそれに付帯する業務を行う
- 2022年にサステナビリティプランを公表